

No.5 ネズミのもどり娘

ネズミの娘がせっかくお嫁に行ったのに、間もなく離婚して実家に戻ってきてしまいました。ネズミのお母さんは、大層怒って娘を叱りつけました。

母：「ほんとに仕方の無い子だね、お前は。あんな良いお家の良いお婿さんに、何が不満で家なんかに戻ってきてしまったんだい？」

娘：「だってお母さん、私いやなんですもの、お義父さんが・・・」

母：「お義父さんとお舅さんのことかい？ そのお義父さんが、どうしたのさ。小言でも言うのかい？ それとも厳し過ぎるのかい？」

娘：「いいええ！ 厳しいんなら「窮鼠猫を噛む」というくらいですもの、私ちっとも困らないんですけど・・・」

母：「それじゃ何だって言うのさ？」

娘：「だって、お義父さまったら優しすぎるんですもの～」

母：「優しいんならいいじゃないかね！」

娘：「だから、怖いんですのぉ」

母：「変な子だよ、この子は。やさしいから怖いってどういうことなの？」



娘：「だってお義父さまったら『猫なで声』を出すんですもの」

母：「？？？」